

NODAK Color Control Patches

LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

Blue

1

2

3

Cyan

4

5

Green

6

Yellow

8

9

10

Red

11

Magenta

12

White

13

14

15

3/Color

17

18

19

Black

A

1

2

3

4

5

6

M

8

9

10

11

12

13

14

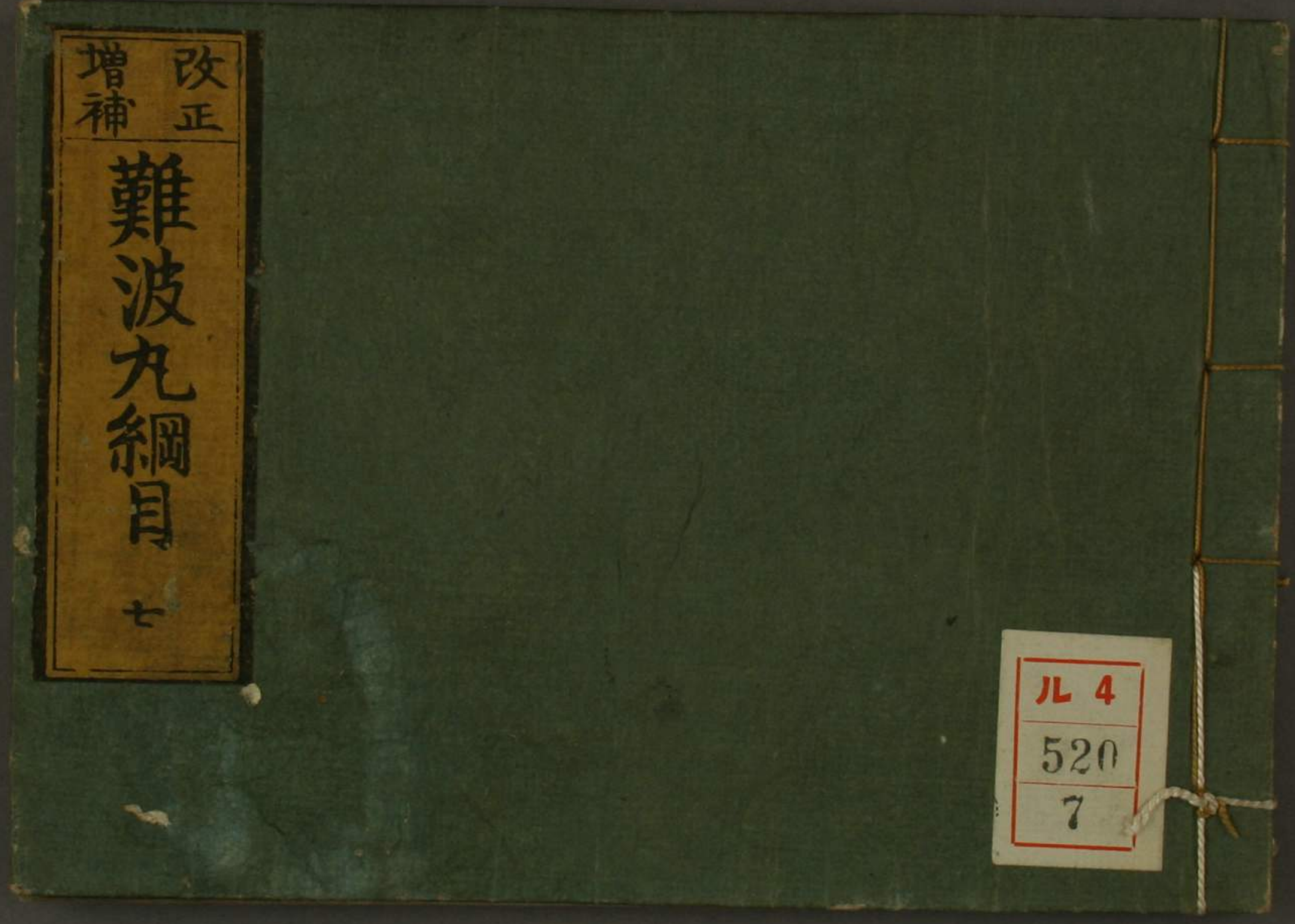
15

B

17

18

19



改正
増補
難波丸綱目
七

ル 4
520
7



0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

難波九編目 七之卷

和泉之部 目

和泉國泉州

和泉國御城之 一高城御堂之代々

高城御堂 一博政所 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

高城御堂 一博政所 一高城 一高城

門 四





渡邊大學頭春綱
御室青木出羽守春貞妹
知行一万三千五百廿石余
江戸左衛門下上水田丁
中流守



御嬪
御内室



渡邊氏家系

源以綱 半藏 忠綱 飛騨守 吉綱 越中守

正綱 丹後守 茶綱 陸奥守 實重 經長子 女美 戶田孫七室 三木水馬室 長谷川篤室

大進 早世 女 松平淡路守養女 伊綱 丹波守 金保 為治

信綱 主殿 豐前守 朝綱 左衛門早世 童取 淡安早世 女三人

堀御奉行



矢部駿河守定令

所知行 三百俵 所役料 千五百俵

御家老 久保孫右 兼帶 之保孫右 所用人 蓮屋安兵衛 新井辰郎 御代次 小山田春房 林屋右兵衛

御用日

二日 七日 十三日 十八日 廿五日 廿五日

前録堀代々御町奉行

慶長五ヨリ成瀬隼人正同十八ヨリ朝倉藤十郎
同十九ヨリ廿之山小兵衛元和元ヨリ長谷川
佐兵衛北代堺地割有之繪圖渡同五ヨリ
喜多見若狹守寛永五ヨリ嶋田越後守
大坂ヨリ掛村同六ヨリ水野河内守同十ヨリ
石河土佐守慶安四迄三ノ号主赤下兼徳元三ヨリ
子息石河土佐守此時与力百五十五石被仰付 北八
此時御与力田中三天夫小川安兵衛松本与三石門戸
川助太夫佐藤佐左門羽津治良兵衛辻村六左門
寺尾治左門前田甚左門多田兵太夫寛文九ヨリ

水野伊守守天和元ヨリ稲垣淡路守元禄元ヨリ
 佐久同丹後守同九ヨリ大坂市支配被仰付松平
 玄番頭永見甲斐守保田義濃守中山半右門
 大田善太夫松野河内守右大坂城奉行ナリ
 同十六ヨリ天野傳四郎此時与力六騎同心四十人成
 室永三ヨリ素山甲斐守此時又与力四人同心十人所願
 有与力十人同心五十人ト成レ正徳元ヨリ淺野壹岐守早
 保十四ヨリ水野信濃守寛保二ヨリ山田肥後守延享四
 ヲリ縮生安房守當所唐物吟味付暫之間所在
 番有之出部久太郎室曆六ヨリ池田筑後守室曆八ヨリ
 小笠原伊豆守同九ヨリ坂部飛騨守後土佐守上段名
 出御奉行石野筑前守

御同心 御役附

	此方 後入警三郎		此方 中村守右の
	此方 過村高右		此方 会橋要右
	此方 岸一九郎		此方 戸田又三郎

上 川女 石渡方 松平宮前
 上條地右
 上條五助
 会橋要三郎

御同心 御役附

組次	寺社	川方	地方	浪方
藤塚信右の 天北与三八 小高右左の 市川内左の 秋山左左の 上田左左の 坂田又三郎 小村新三郎 別正八十八人	今井持左の 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎	松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎	松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎	松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎 松平又三郎

新堀川

塔成碇ハ近江ノ海中ニ築キタル碇場ナリ
近年築洲ノアリトテ入海モ甚クニ多ク
これよりテ越前ニ至ル 名命アリテ大和川
ノ碇場入海ニ新堀川ト稱ス 昔年田五面
被ハ光ト多クテ舟を引テハ少ク船
地ト云ル也 妻夫出ヨリ

石堤波戸

塔ノ付ハ古風ナリ大碇場ニ碇取ノ碇取ハ碇
集ルト云フモ碇取モナリト云フ
享保五年ニ碇取ナリト云フ中ニ碇取十箇
石堤波戸ニありテ西海ノ大浪ト云フセ
モ云フテ碇取モナリノ碇取ノ碇取ノ碇取
ナリト云フナリト云フノ碇取ノ碇取ノ碇取

土産 工商之部

朱座

名在町大乃 小田助云布

鉄炮師

板並島乃 日丁 芝近利乃 日丁 芝近利乃

山田 日丁 山田 日丁 山田 日丁
森田村 日丁 森田村 日丁 森田村 日丁
井上 日丁 井上 日丁 井上 日丁
田中 日丁 田中 日丁 田中 日丁

同金具師

田中 日丁 田中 日丁 田中 日丁
田中 日丁 田中 日丁 田中 日丁

同金具師

金物 日丁 金物 日丁 金物 日丁
金物 日丁 金物 日丁 金物 日丁

米相場所

米相場所 山本茂兵衛
會所市ノ町 同金中 横敷百人

伽羅沉香同屋

伽羅沉香 日丁 伽羅沉香 日丁 伽羅沉香 日丁
伽羅沉香 日丁 伽羅沉香 日丁 伽羅沉香 日丁
本の品 日丁 本の品 日丁 本の品 日丁
本の品 日丁 本の品 日丁 本の品 日丁

日 万石 日 月 女 松本株之

生魚問屋

每朝市南濱

松本株之
古多清之
永長之
文孫之
幾登九之
十八登九之
酒登九之

質屋年寄

仲間百六十五町

古多屋年寄

仲間百六十五町

古通奥屋年寄

仲間二百六十町

馬借 倉所

南津丁大乃 五入口之馬

改正増補之部

戒備 濱方石濱掛り

御番所

御役人 市下役 岩川辰右衛門
辻村清右衛門 古屋平八
中村守右衛門 河村虎右衛門

石錢所 勘定方

谷口依市

寺井表八 伊田嘉之
小伎 赤之入 長之入 赤之入

濱方依問屋依舟

同屋百又株株 内 奥同屋廿一町
田家於同屋七町 万同屋百廿二町

廻船三十六艘

内二十艘系船也船 十六艘在船津津

濱海船三十艘 兼船百艘

通船二十八艘 小船二十艘 濱海船百八十

船年寄

全田屋依舟 全田屋依舟
全田屋依舟 全田屋依舟

同屋年寄

日老代 松原茂八

廻船年寄

濱海船 日老代 松原茂八

茶屋年寄

茶屋年寄 日老代 松原茂八

大津年寄

大津年寄 日老代 松原茂八

淡紅組以

細谷孫平 小姓 五人

小後八人 十二人

曾目五七

燈籠堂 火燈

好井苗之

▲我修不積劫定場候方段所 粟利
之介 淡紅組小形 由之取年物 之紀 不

清掛屋

以之修之 以之修之

河内町之

尾方八人

国古地無之

京都御用海軍頭

大一者三舞

綿使相場會所

海勢や大三舞

業種操之

蓋田治之

高之修之

米問屋

松屋長九郎

源屋初之

泉屋三郎

牛久屋三十五

泉屋三郎

二佐や六之

このや修之

不修之修之

綿問屋

寺屋三郎

以之修之

以之修之

小山や久之

北國屋

祇屋三郎

他国に修之

以之修之

以之修之

紀列泉列綿問屋

去修之修之

以之修之

松屋三郎

小刀屋三郎

以之修之

不修之修之

加さるや修之

于綿使の修之

松屋三郎

日 長九郎

日 又 三郎

青物問屋

山本や久之

八重九郎

茶煙屋問屋

中買九郎十郎余

大和屋三郎

大和屋三郎

松や八七郎

高のや修之

細屋三郎

造酒長崎積酒屋

大和屋三郎

大和屋三郎

大和屋三郎

日 長七郎

日 長七郎

日 又 三郎

日 修之

日 仁之

日 又 三郎

細屋三郎

細屋三郎

細屋三郎

金屋三郎

金屋三郎

金屋三郎

修之

修之

修之

井屋三郎

井屋三郎

井屋三郎

法布院宿店

少糖下
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

徳本綿織屋
丸武百刺余

本綿苗深屋

苗屋
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

結糸物
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

名代酒
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

尾
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

附木屋
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

名素丸
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

日井胡丸
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

名物唐金通
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

書家

儒者

系曲

藤有細人約院

竹細工

漆屋き

大板一雨張紙細工

大板のり敷竹

全別者踏

下込

小口式林

天満宮

別南天台宗

山門延暦寺末寺

威徳山老樂寺

法中茶王院

塔取吉祥院

濱海陶舟

州加驛川号多

本多勾當

車中名ま土屋一楽

南子丁 体庵

みかど村

上丁 谷吾屋

九丁 瓦生

六丁 今市河

今市河

今市河

今市河

今市河

今市河

今市河

今市河

今市河

三村文

別高島宗本北社八十八石

法中明王院 遍照院

塔取五大院 宝生院

虚空院 多聞院

本山廣普山妙國寺

日蓮宗寺領百九石

梅明院 吉祥院 宝塔院

十素院 系立院 真照院

喜龍院 舜如院 空坊 二丁

本山甘露山大經寺旭蓮社

兼字宗當時降土夏遠流本山却野慶山

子寺領四十石

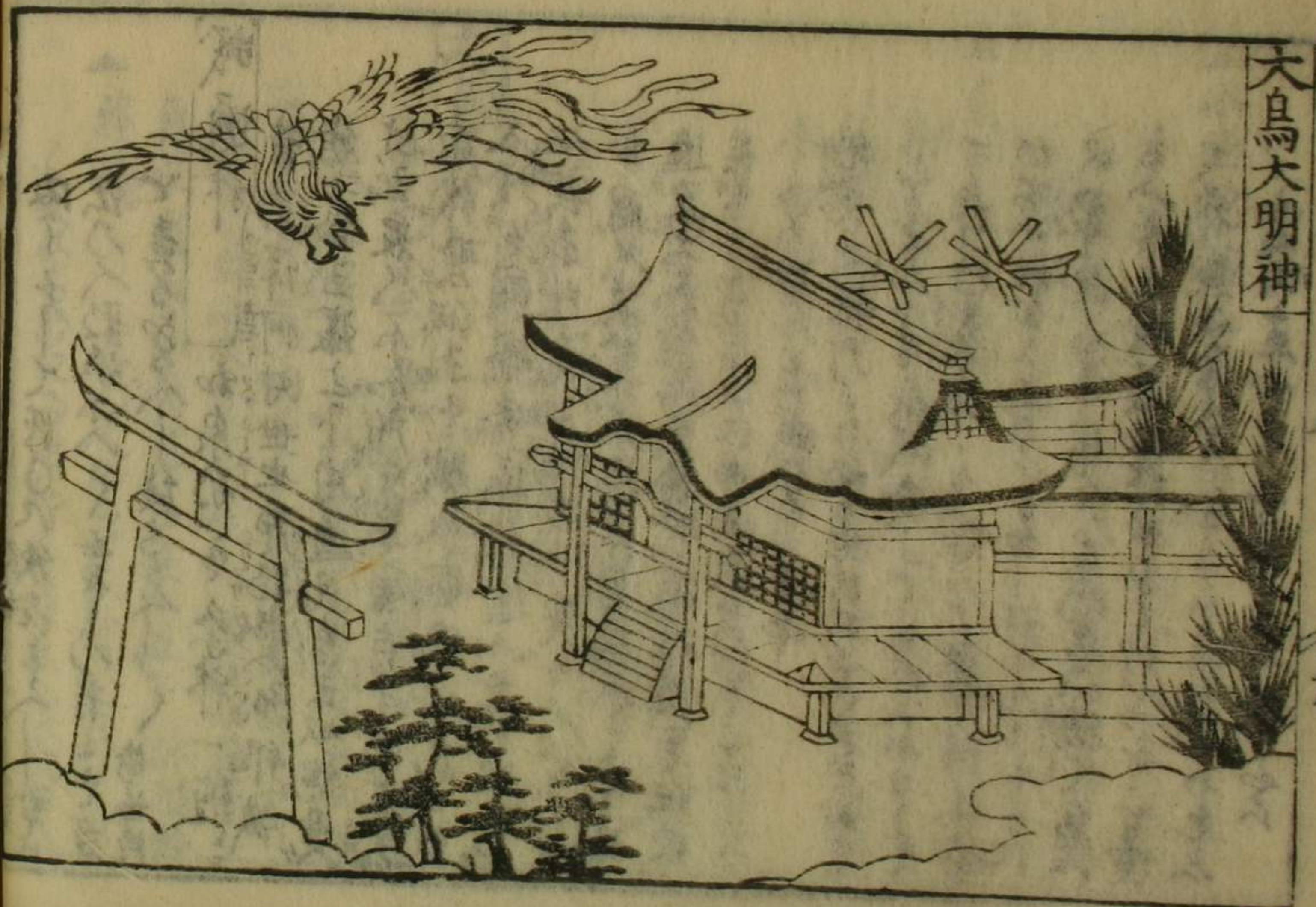
永春庵 友梅軒

松見庵 琳番庵

雲錦庵

十六ヶ寺所兼京古

天神三村宗



天鳥大明神



蟻通之社

天神宮

乃左持列外持之
社領式百石

大為社の神と云

神主

田所修理

別當天台

常樂寺

塚乃瀨と戸の木の丘の泉列ありてその
丘の持列の内之故に塚と云ひは神主の
聖宮の表裏相対するの儀ありて自ら
出於七徳と彫刻ありて一と延在年
中不凶災ありあつせうと民家の徳も
其徳に對稱して然る湯作のたてぬ
一神徳也ヨリ不みやとく社以乃え
佐々見んやとて一りあふ不凶災の天
ひより神徳也とて一りあふ不凶災の天
不凶の庄氏子として造幣定興あり
殊る大周秀吉とあり市南流ふり
是の庄中神外延持ありて社末社
金堂の玉堂後ふまがなり其徳也
とて一りあふ不凶災の天也乃
法流ありて坂山不属せり

今池弁文天

縁通事とのふまあり

方達大の神

交配を以て神の靈徳をのちし
神切里に三神と云
いひは神乃媛は浦小なりありて
恒吉の神皇居不徳ありて其徳
吉此圖小徳を云ふとて一りあふ不凶災
能く方達乃改るなりとて一りあふ不凶災
より今乃恒吉の徳を云ふとて一りあふ不凶災
を云ふ徳乃地也神と云ふ徳なり
その徳を遠く傳へてその徳なり
とて一りあふ不凶災の天也乃
方達乃災とて一りあふ不凶災
此道是乃財はははも天下の道也
乃とて一りあふ不凶災の天也乃
礼なりは日云録なりて徳なりは
信り常乃日は別也向衆と云ふなり

観音宮 村意徳

山浦八平村の神

観音の宮に於て是の神は八月八日小徳
然りて一乃徳神出せり同十一月十三
日小又海中より大なる意徳酒小上
より出せり是の神は二寸幅の板乃
厚二寸八寸寸なりて是の神は二寸と云

多れは梅白の如く之れと云ふ之れ
月院別當於辨法寺奉養加於院
法一之と云ふ事也云々云々
以換乃其は酒乃海中亦石戒のほ
ます云々云々云々
乃其は出流子物く浦へ出たりといひ
同十二月朔日云々云々
あるはり別當の如く職云々云々
てゆり之れは其の如く波濤相なり
海上極の如くす林祇乃奇瑞といひ
つ一三日云々浦へ入るなり
奉養り云々入るなり云々
乃其は目かとの如く之れは戒乃
秘於云々云々云々
橋三六原云々云々
云々云々の如く多敷中二夜同
亦出流する中微小希然乃在たり
云々云々流へ入る事云々云々
抱仍の如く其の如く同河不遠云々
希の如く其の如く之れは戒乃
しりは亦大不流の如く之れは戒乃
と云々世多の海中乃其の如く
を上小町屋と云り

芝居

延寶六年乃法云々所小
養芝居と云々の如く云々
四年乃其は庚申十月廿三日夜
復より大如く燒失いけり云々
又其の如く人云々集せり云々
某屋の如く其の如く之れは戒乃
之れは戒乃の如く之れは戒乃
氏云々乃其の如く云々

親書堂

今乃其の如く云々
寛文十二年壬子十一月小別當
連立云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々

甲の林 延馬堂

林切里辰佐吉
三韓と云々の如く
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々

乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々
乃其の如く云々云々云々

及依りてしりりの中興御領は今
爾後乃山の西を井乃南小島との
雲南の甲社なり

宿院

此の宿院古大尾神社を奉
六月晦日乃此宿院神樂の世に
後下し山乃小二社を山の樫五宿院
南の宿院おとまり又段乃方に宿院
あり南小島能遠くは南小島珠と
小島宿院乃口十一日乃乃乃乃乃
宿院乃乃乃乃乃乃乃乃乃

福所社

此社の福所源流是は氏乃
遂元和年中小御清世の所なりは
宿院殿より有候す應は是の代
此社の福所

荒井堂

青河橋列治流さなり
御領乃石津乃荒井乃由長三尺
是は石津小文字殿付乃乃乃乃
夫乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
池中より深井乃乃乃乃乃乃乃乃
大の井乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
此中乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乳守宮

此森乃地乃乃乃乃乃乃乃乃
此宮乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乳乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
古と申すは此社乃乃乃乃乃乃乃
此乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

仁德天皇陵

乃德大出乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

田出井山

又三國山と名づくは陵

鬼道と云ふは漢書に仁徳帝乃神貴
鬼乃神祇子多踏水と天皇に譲り
給ひ山城國鬼道と云ふは地ふり
白く死するを即ち此鬼小葬事の
と申す人ゆり或は此鬼を獲て天皇乃
張たり支統めと云ふ事なり
此鬼高野聖一 大仙張より神小あり三
國山より平来乃方し世人長城山より
武内守仁天皇より高野天皇まき
六朝小社へ方長なり

泉列塚古跡

庄三村あり

庄三村あり
庄三村あり
庄三村あり
庄三村あり
庄三村あり
庄三村あり
庄三村あり

乃此村山取を飯少、以漢浦小あがせ
今此飯と云ふ所乃松九女小つあがせ
亦と飯乃松と云ふ所乃飯乃向入友の居
今旭蓮社乃日徳寺七社の外小別と
九女松の社と云ふ一社後ひきかた飯小
石宿儀乃色と云ふ九飯小法と云ふ
伴塚
乃門おふるの飯乃飯乃飯乃飯乃飯乃
飯と云ふ飯小今飯と云ふ飯小飯小
古乃飯小飯小飯小今飯と云ふ飯小

飯地

乃此の飯地小飯の飯名守小神の
干珠と云ふ飯の飯名守小神の
表す飯珠の飯古廻斎乃色なり玉出傳
と云ふ飯小飯の飯名守小神の飯小飯
七やこれ六月の飯樂宿儀乃飯地
小ありの飯干珠乃多り七月の飯樂
と云ふ出傳へる飯の飯名守小神の飯
九、飯の飯名守小神の飯名守小神

飯地

例年飯地飯地飯地

七度

或ハ七堂演云是いふ

乃此の飯地小飯の飯名守小神の
乃此の飯地小飯の飯名守小神の
乃此の飯地小飯の飯名守小神の
乃此の飯地小飯の飯名守小神の
乃此の飯地小飯の飯名守小神の
乃此の飯地小飯の飯名守小神の
乃此の飯地小飯の飯名守小神の
乃此の飯地小飯の飯名守小神の

聖王(高)の志は遠くはるかに及ぶと
 七度降りて来りて又は遠く
 七月八月小踊大會佛あり河内を
 乃大念仏ありて人々を導きし所
 乃三昧小踊とてそのとて佛依とて
 如へ一切の法を法界の法に小踊を
 佛の如くあり

高野堂

高野堂 高野山に大陣の法
 ありて高野山に大陣の法あり
 高野山に大陣の法あり

将軍塚

将軍塚 高野山に大陣の法あり
 高野山に大陣の法あり

朴津里

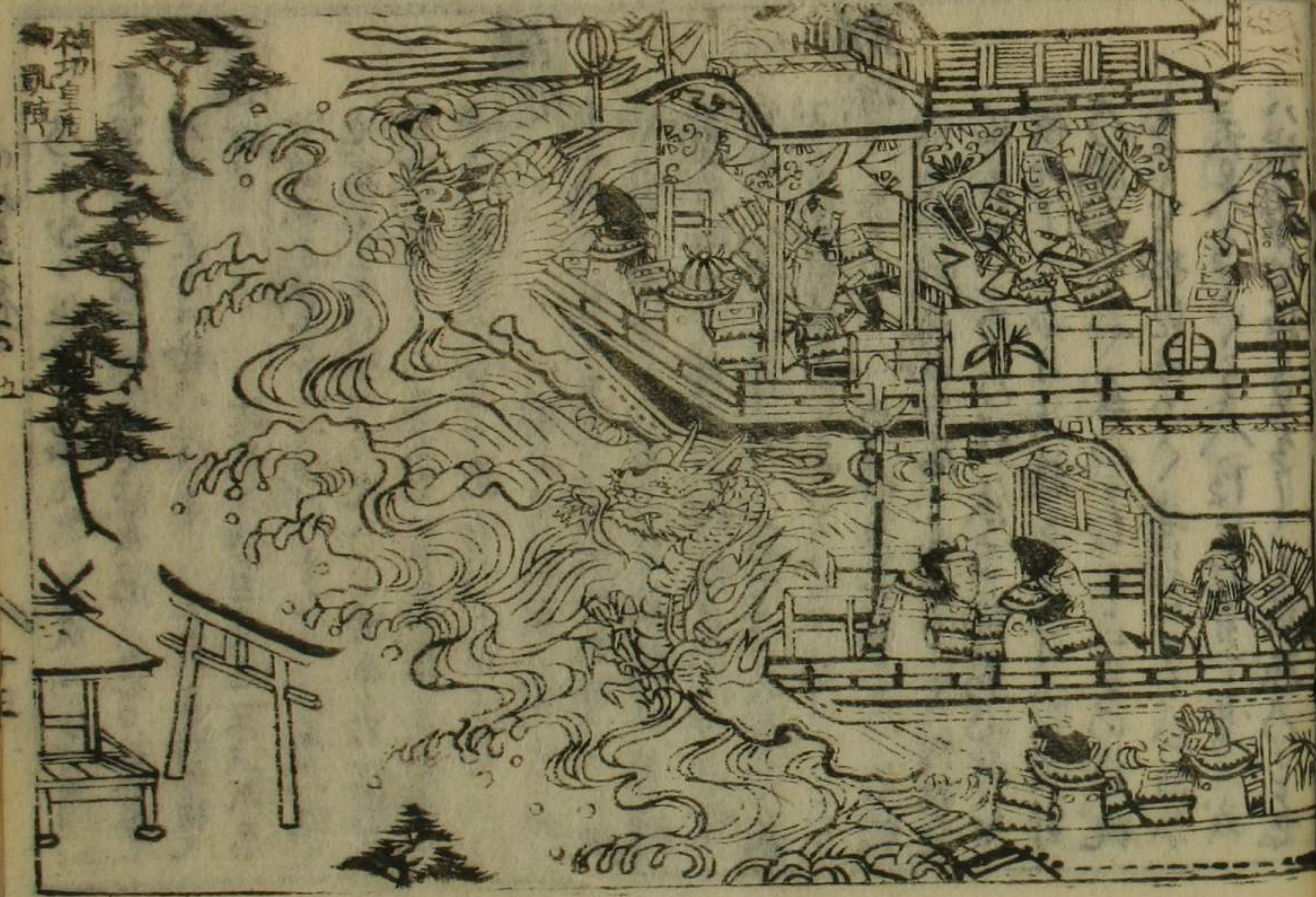
朴津里 高野山に大陣の法あり
 高野山に大陣の法あり

玉振節

玉振節 高野山に大陣の法あり
 高野山に大陣の法あり

戸立野

戸立野 高野山に大陣の法あり
 高野山に大陣の法あり



神功皇座
 凱陣

乃中乃祖母の懐くと云流るを命
果多乃境乃道乃... 祖父のよとの境乃津中... 母の町

市町と陽能乃町とのち
大乃境乃道と云り... 分境乃境なりびり... 隆田村より境なり

乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り

乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り

乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り

塩田

東南乃名風言の塚大町の
西六形筋ふる別り町乃名と塩田
町といへりなり基なり... 中乃おさめと中乃... 乃業乃と汲えて風乃... 凡乃あると乃や... 在乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り... 乃境乃道と云り

大と安至寺あり井ハ旭蓮社乃ち
衆とあり龍窟其味不測乃其
田長あり其味不測乃其
餘くすあり其味不測乃其
餘くすあり其味不測乃其

市

市戎 井 大黒町 石像乃其味不測乃其

弘法大師乃其味不測乃其
野乃其味不測乃其
又大黒町乃其味不測乃其
又乃其味不測乃其

白井

白井 乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

海會寺

海會寺 乃其味不測乃其

首海会乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

龍井

龍井 乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

女

女 乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其
乃其味不測乃其

泉列山川古蹟

横山

新六折

元後

何ぞといふ境さうれ泉の横山炭のゆくぬん
境遷居わし元白炭一程と出して之
後不云炭乃湯煙中乃炭炭より熱乃
湯乃炭と云ふべく白く煙て用ゆと云
は炭ふた乃おと引ざりハ奇乃炭ふ
あさりぬと云ふこと

あらし山

又きお小同名あり

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

和泉の池

居不事物 花 麻

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

河島 雲 着 為

居不事物 又枝乃奇

六折

泉の意山橋堤ぬし横のそとれさかかむ雲

志れど乃森

居不事物 又枝乃奇

ちとちと乃あり

枝とれ乃と云ん 松 ちとちと乃あり

首截地蔵

此は薩摩の石像なり

其の像乃他あり其の首截之より上は信子
道堂の内におありて其の首截は奇怪なり
あり其の首截は人々の首に似たり此の首
截は其の首截の首に似たり此の首截は
これより首截の首に似たり此の首截は
信子の首截の首に似たり此の首截は

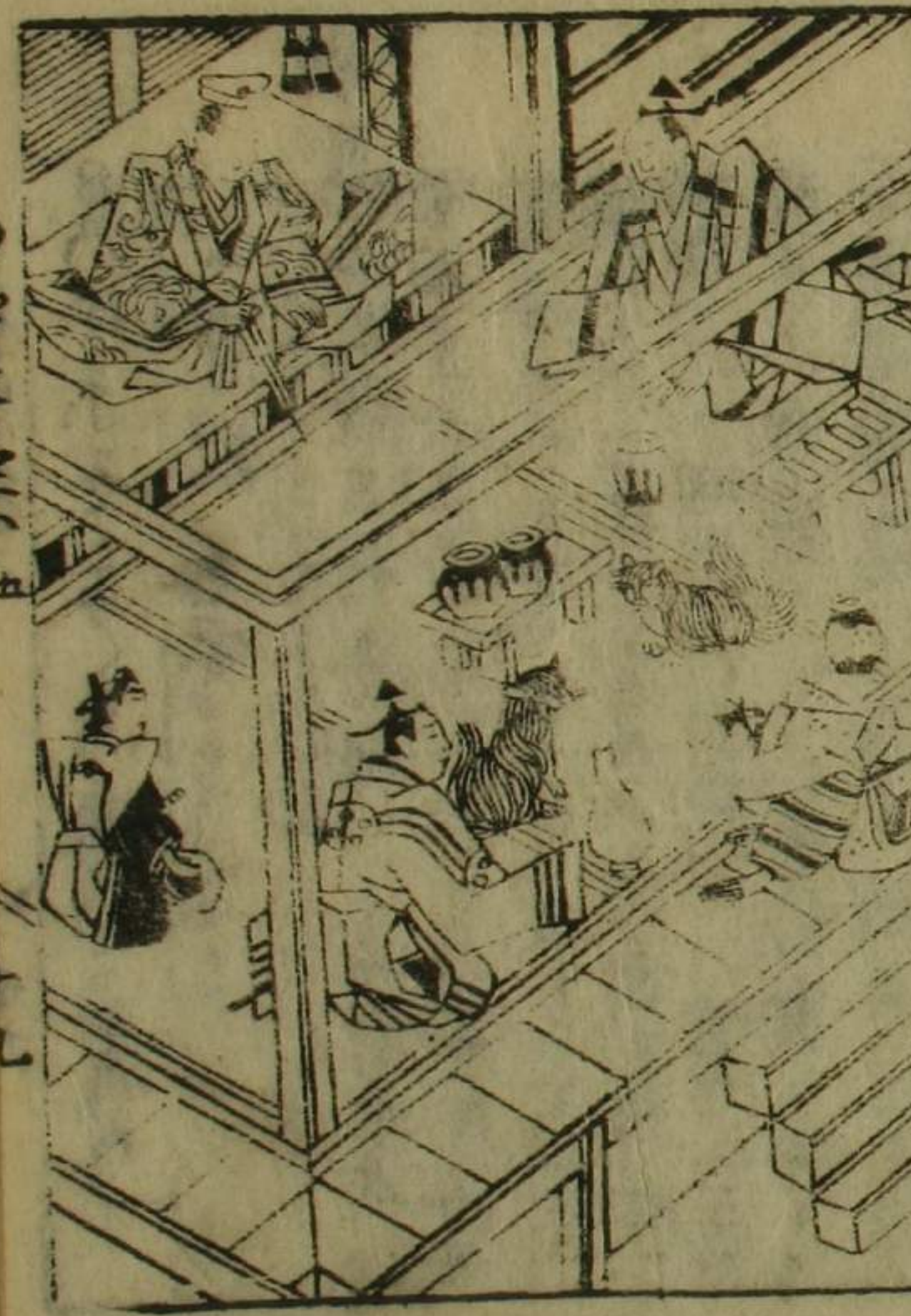
岩倉の夜

此は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜
此の夜は岩倉の夜と云す天正八年七月の夜

皇子の上ノ首切地蔵



阿闍梨助左衛門呂宋ヨリ歸朝



日乃中ふそりく乃漁人とあなり

一寺観 凡塚をき記せり

東山久経寺旭蓮社 石版四十七石

南約才二主住村と久也乃建三用山
智高上人之遺業云々流宗ふり
彩小入、廬山蓮社乃宗祖と信承
功乃乃り旭蓮社と興起と善く信
社号乃種興り二人立世流廣く流
一人白髪慈慕し一乃り後号し
人宗実護院あり、乃孫可歌
又阿弥院と續と終り上人寂
復安六年壬子七月廿七日おくた
多のぬ門院を月減ありて三日寺
流神料にす石版當代小部より
中蔵部あり是念仏長乃乃乃場
徳寺七社の非 又後凡品乃乃
前小部寺

三圃山向泉寺

石版九十石

聖武天皇乃初創開基乃基基
なる千文報善徳寺抵是井願天
王乃り建立乃物小阿伽井と名
流泉とゆり故小向泉と名山寺
泉河橋乃乃小橋小故小三圃山と
孫可別乃乃遍照光院と号す後小
三圃橋比乃伽藍之永正年中ふ
火小のりくも院滅之にのりも
門と流乃乃小後可ひり乃乃乃
物乃今乃願流乃り秀云乃乃乃
樹田九十石と揚小流當代小部乃
朱中殿部たり

法護山悲田院

石版九十石

後奈高院天文年中 建三圃基
能上人姓の源氏江州住之乃乃
女乃何孫院如來惠心乃乃能乃り
然理植現乃其後小申く寺乃
別号乃乃乃乃乃乃又上人市乃
知く是食家民と申す乃乃乃乃
悲田院と申之是代六十石乃乃
流當代乃乃乃乃乃乃乃乃乃
法寺辨乃天 弘法大師の彫刻
法津山極樂寺 石版廿石

法津山極樂寺

石版廿石

野原一々念仏燈のささりゆく一柳と
無眼也... 宣下す... 宣下す... 宣下す...
上人と... 上人と... 上人と...
... 宣下す... 宣下す... 宣下す...

經王寺

古殿廿六石
康永年中... 蓮豆

開山目蓮上人... 乃末也...
古殿廿七石

顯寺

古門院文の十三年... 乃末也...
開山目蓮上人... 乃末也...
... 乃末也... 乃末也... 乃末也...

光の院

永正年中... 乃末也...
... 乃末也... 乃末也... 乃末也...

梅寺

又... 乃末也...
... 乃末也... 乃末也... 乃末也...

上人海海立かゝる乃事少し成此来
 中教命なり
 右十四ヶ条小三入律乃常承寺三村の
 念仏寺と云く是と十六ヶ条とあり
 先代より此當家不置りて其者老ね
 甚しく以て裁く事ありて右の
 言八百世に立りし

妙因寺

与成百廿石

永長年中教命との也

永長五年不達立開山日蓮傳西
 達立乃檀立八神宮常法寺地
 矣休乃身をかりてふ人標標然
 一板あり其の二間を可板起り三間二
 寸板本六ふ十二寸を希代乃法也
 聖大の十年六月不家康云此上迄
 しく有るに成序之

豐原

妙因院殿 法興院 又法名龍育寺殿以敬實休卜号

小御信信花院

西中教寺 与成百廿石

文昭本中不標本殿乃成と云れあり

開山上人一人世入新法蓮如上人
 信證院卜号と信傳一有り其院七
 達立一ノ別信花院 二号一ノ及信
 系信乃信海と云せり昔乃本寺也
 聖德太子あり是今の云の云あり
 為る也今今乃本寺の才十一代有也
 上人乃自ノ別信海の云の云の哀
 小御判才ありて遊しと云此名の云
 成なり今乃由堂不交並せり其本
 三百石の内二百半石の東列 龍尾村
 所一十石の法列山標乃御也、其
 於中ちへ納所也
 右十六ヶ条本寺又二十ヶ条と入六院
 与標連社あり以て十八ヶ条も此本
 是也てあり

南中坊證法院

東中教寺

慶長年中に西然寺二代長
 云云開山上人一人一世乃系孫
 上人乃由場子成也上人 東中教寺
 与信傳一有り其云云本證法院といふ
 云以興部一人ふ有り左信也其乃

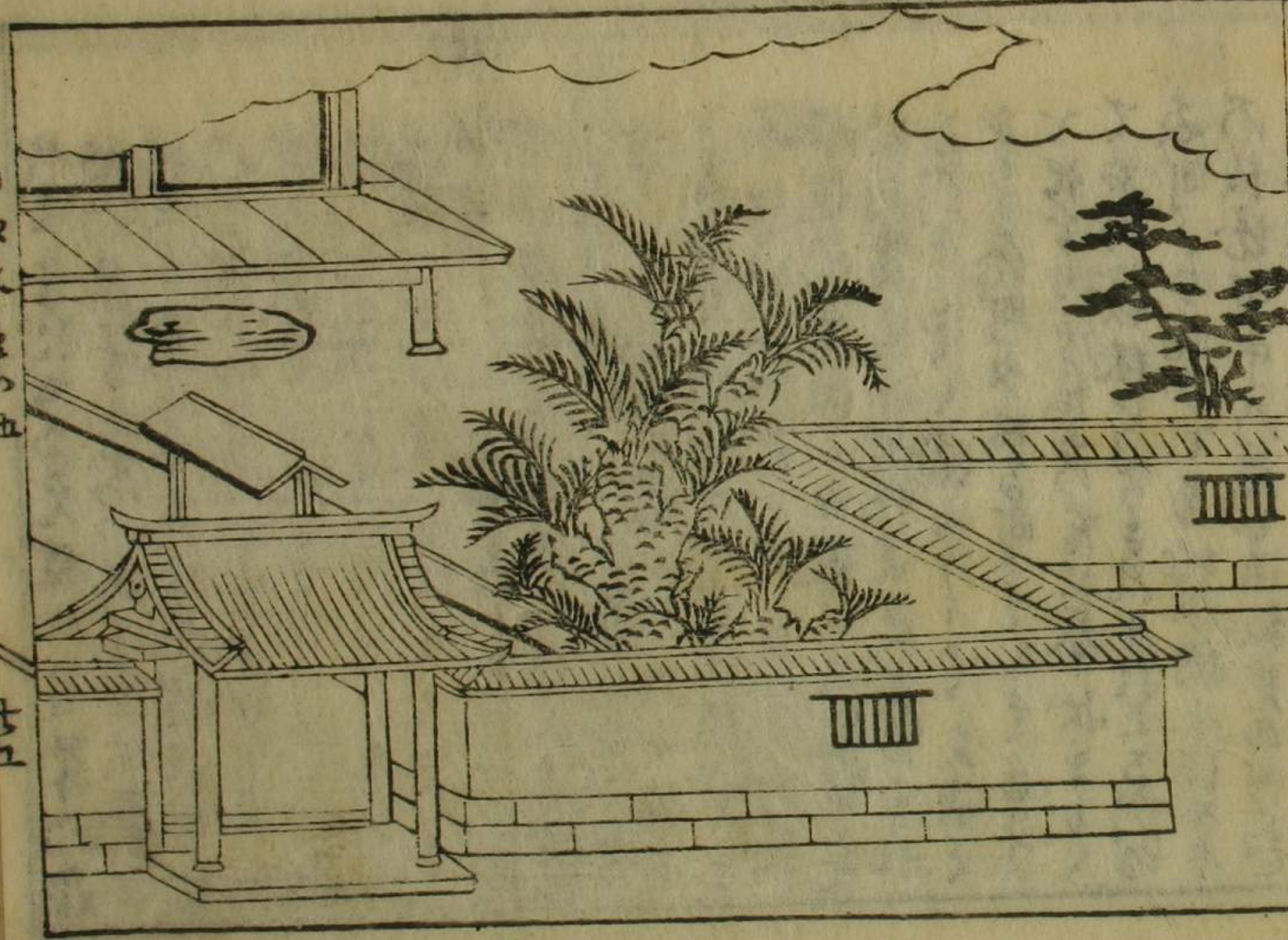
極

乃場とあり昔乃院号と今小部りて
唯用此成なるハ六派乃他
と終美とく来由と定作なる十一而
親者尚海中より出現乃落階と
勢とくあるあり

專

乃用基作りて人坐座詳りあり
夫惟醜ゆりて耳目乃編る不記
奉度建終乃切意とあり泉列乃
尚境西向及以續井村乃杏稱と
再興一掃津乃大坂一心寺乃冬
乃とく建立と道多あり三か院法寺
此乃利意と仍住僧外念仏三昧
入く竟ふ天正六年丁丑又附廿七日
在何れは流絶と持口念仏誦文
佛度合書一法秋八十二歳あり
入寂す一心寺再興乃切終りし時
恒持此紅毛信と感して一心寺

妙國寺 蘓鉄



妙國寺 蘓鉄

五

少林寺

代々守持せる元祖内自承乃雅
彼乃名号とある其幅と云々小
苑と云ふり此名号乃謂れ松列
乃ち統一心寺乃亦小志とせり毎年
正月廿六日この開とせり後人小
寺に比慶長年中より大徳軍家
康云つと上流小徳とせり
後醍醐天皇用之
中ノ小蓮とせり用基桃源和尚徳
ハ小林氏あり中ノ細ハ小林と云
書一ハ小枝達慶大所乃女林と
と表とく後小女乃京小波切
中ハハ紫野大徳寺乃授以英
梅院乃系流より龍ハ大ガ盛光
境内廣より一と依長又石上られ
寺門とせり減た一と立高と
ありち代町女林寺町とくそ名身
と祀り後秀吉公奉状ましく
て右乃菽林とゆふれそれとる門の
及町より地と高地小納一じを平
乃後境町中乃地子内秘苑の内園
くハ及町乃地子と云ふあり

道けり又此境以耕田云云
約程乃古より是と云ふあり

築山妙法寺

末吉岡山日英上人あり天正年中
小唱法師來く中興す又古内ハ
日蓮上人乃自承乃石塔と云ふ世
俗ハ石塔乃古先より此上人あり
弘通乃時海上あり波乃西に目
と書あり此波ハ中ノ道と清と云
と云ふ石塔あり一國と七ハ小立石
ありと云ふ今此石塔も一基あり

慈明山了元寺

同基年

中古ハ陽照光師あり興基
あり今ハあり未乃礼となす是
小園と云ふあり又云と稱す
山上人乃あり乃此教とあり
長秀法師ハ附院と云ふハ不
ありハ附人五百七代正統町院ハ
と云ハ依仰ありと云ふあり
ハ殿もハ遊縁と云ふあり上人乃
一教起信と云ふあり

小徳をせりい偽若秀小徳りて由吉
小徳りいひく湯作やうやくらんり
徳れたいまご中あれりすと欲さ
人乃由教小行り一六或我乃中
小上人より西尺二人乃由徳と
尺く愛えぬを豊目くはかく
一信公徳と相来して若秀小らん
糸一玄ぬ若秀湯作欲善く
勅乃恭發色くるりか一七七年
終く永保十一年六月廿一日乃る
そよ密麻乃中る盛すれらる如
来ハ唄乃思若小りしすを
大勢部りありくは中るをえん
若んりす若秀あされ果燃海
海して忽り持力志く花よりえん
さんくけり人く邪く陸喜感欲
一命ふくへ一なるあれはくこ
多入一坊として各高麻へぞゆりぬ
柝は公乃所以の背患心傍於乃母
乃若根のあら小強徳三ると能り同
千祈乃若密と念き重び小由徳と
らして中若乃由力内ふらりて高

麻吉に納りまをせりいふきとや再
瑞利生乃まらしくある勝斗と
くすはさきくめ遍思慮ありと
在秀寛文中中小う是きと改め
又中山三十三世乃上人光の山と名
付あり

龍谷山祥雲寺

寛永二年小建意

岡山御所和尚宗聖大徳者乃来る
方り檀那ハ若氏正安乃志願したる
小獲徳二十楹依あり大切なり此
き丈八尺小及びり後小庵人の奇徳
こす高き藤城岡堂乃翌日當
境乃新杉史石匠去依者勝正俊志
とくか笑徳とのべ和奇一首と紙
てこれと結らる

自ら秀の書安庭の西州若びと最か二〇八
澤和尚和尚和韻 延奇

徳聖和尚後徳依 此堂新書若高橋
秋甚二六年中月 花又八重花一き
々公社の車寄こも光すはとれと

長谷寺

聖武天皇天平勝宮

年中に造又岡山の徳道上人方り

天皇皇后乃御と云々大和天皇長
寺と建立乃ちまてと人小
國小新長宮を以て建立し
ちんを之を元一ありと記保小

東光寺 寛平年中小建立
開基ハ紀綱乃志本寺ハ美原也
かり此寺ハ海中小光の出現と
見とて寺の御成りては寺
と始りて寺小光の御成り
る寺也世人侯乃美原と云これ

西光寺 昔乃開基ハ美原也
寺乃云々上人たり天正年中
蓮社寂意上人中興と云
師乃乃子寛中成り此寺ハ
此寺ハ長日師成り此寺ハ
かり元基ハ本寺乃此寺ハ
一と永保年中小建立此寺ハ
智恩院乃末寺也

長寺 元應年中小建立
寺ハ勝檀那にて美原小地と
美原と絶て西粟光の寺
り成り上人と傳傳て開山師也

西光寺 元應年中小建立
十二月十日小建立此寺ハ
名長寺殿前開列貫通此寺
寺と号す今中興り三好氏
あり此寺中興り智恩院乃末寺也

開山本山成寺 嘉吉二年壬辰
開山ハ日親上人方り美原法
寺と開基一本乃寺也此寺ハ
年ハ小建立と云此寺ハ
法寺乃開基也と云上人立世
乃時法乃小建立と云此寺ハ
弘通一あり後花園院此寺ハ
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此

此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此
此寺ハ開基ハ美原也と云此

と書しし和泉國しあり

天井前掃

此掃ハ池引引吉撰

多く製乃に記して下ノ部をみす
さくみ記ふ合と二めしる也

徳本履

今町乃本履とこ

雲階

品とすくも雲のぬけさるる云す
雲階乃ぬけさるる

屍切と云物と月ゆ十利体言乃以
茶湯乃内露露入乃あふ露履乃
裏ふあひの草と付さを用ひもひ
とく雲と踏と云物とれそ名付と云

神松丸

百乃伝神松村乃

里地より他り出さる名所也古例状
ゆく毎年 公方へ献すもの云
海長ち乃あふも

鬼煎餅

つれ違一甲く大の縁をたてあひきたり
七年ハ梅目とすうとて又さくら
て記しゆあやうふ合とるるとさく梅
樹りと書ととり 傳人ハ煎餅と他
技と書とすとり

紅茶豆腐

此名ハ傳乃梅鯛小

色あすすといふらん中くたふ射しる

物とすり又一人乃く買換ゆハ梅鯛
小もいふと豆腐乃故小紅茶と付る
ハ故乃梅鯛なりと云

煎餅

伝吉大の神乃社乃

あ乃海邊よりわたり 奠とあ乃天
云又二流のあ乃奠乃あ乃あ乃奠
其よりあ乃奠ハ梅鯛乃あ乃の

梅鯛

と云梅鯛と云ふと云乃あ乃あ乃
乃書乃梅鯛の梅鯛あ乃と云あ乃引らん
あ乃梅鯛乃あ乃に云と云と云と云

梅鯛

往來ハ浦へ戻ら

へハ梅鯛と云あ乃ハ云と云と云
と云梅鯛と云と云と云と云と云

金銀

元和年中ハ法庵人

ハ洋小海乃く伝伝松屋と云あハ小
金銀乃銀と云物と云と云と云と云
お徳と云業乃銀と云やり云代と云
せらに銀と云と云と云と云と云

出方と云と云と云と云と云

深長度

世に深長度と云

と云入と云と云と云と云と云と云

天川子子紙

大多原履 常番橋

上村箕

馬尾節

畠田千鈴

貝場麦粉

岩田源

新田文義粉

和泉國寺唐合七百貳拾六ヶ寺

同大小社合九百六社

村敷合三百八拾五ヶ村

按比石高指六万三千二百貳拾肆石

海司浦々

塔り谷川まで

石津浦

浜子

助松

大津浦

岩和田津城下

小所 更在所 場所 本所 古所

貝場浦

新田

仿中添村

新田

かた

青足

畠田

尾崎

新田

新村

波子

若尾村

法橋浦

谷川

大坂より谷川へ来たもの藤原の町より

塔大小

塔り谷川大石紀列塔を指一里丁四百間

谷川

谷川を町へ渡海乃流

紀列加回

二里

紀列回色

二十里

同和家浦

一里

塔

塔

塔

法橋田良 一里

法乃次 一里

同 若谷 塔

大崎 塔

岩和田分町 一里

塔 二里

塔 三里

尾崎 九里

尾崎 七里

山形 塔

山形 十二里

一ノ谷 九里

大崎 六里

法橋若尾塔

塔り紀列乃流

大小塔 大塔 二里

大塔 塔 二里

塔 塔

貝場 塔 二里

塔 塔

塔 塔 二里

同 塔

塔 塔 二里

貝場 塔

塔 塔 二里

塔 塔

塔 塔 二里

塔 塔

塔 塔 二里

和泉國以上

享和元年 辛酉 土月 改正

心齊 搗通 唐物町

大坂書林 河内屋太助

右之板行 万一打違 承和元年
板元迄 以知 出可下作

國花分明集 和泉國終

